

毎朝出社後、二十分ほどかけて各紙に目を通していきます。気になる記事を見つけたら、切り取ってカバンの中に入れて持ち歩き、隙間の時間にじっくりと読み込んでいます。

三十五年前に福井に帰郷したのを機に、もっと福井について知ろうと、地元の祭りなどの記事にも目を通すようになりました。

よく読むのは、人に焦点を当てたインタビュー記事。人生の軌跡を知ること



益永哲郎さん

記事の感想「和歌」にして送る

で、勇気づけられます。が
んを患いながら、同じ患者
に生きる希望を届けよう
と、写真展を開いた人の記
事には感動しました。自分
ももっと頑張らないと、と
後押ししてくれた記事でし
たね。

二〇〇〇年からは、心に
残った記事に登場した人や
執筆者に、その人の名前を
織り込み、感想も交えた「和
歌」を送っています。一日
二十通をノルマに、今では
七万四千通を超えました。

新聞は、社会の動きが網
羅的に載っています。イン
ターネットでは興味のある
記事だけ見てしまいがちで
すが、一覧性のある新聞
は、興味のない記事の見出
しも目に入ってくるので、
視野を広げてくれますね。

(益茂証券会長)